

談話室

産経新聞 令和2年（2020年）9月17日（木）

被災者のケア 安心感が大切

大学生 高瀬峻矢 19

おとし7月の西日本豪雨で、被害が大きかった地域の被災者アンケートを報道で知った。仮設住宅などで仮住まいを続ける人の4割近くが、豪雨前に住んでいた場所に「戻つて暮らしたい」と回答。一方で「戻りたくない」と答えた人も3割近くに上り、自宅の再建場所について、希望が分かれていることが明らかになった。戻りたくないという人々は、同じような災害に遭うのではないかと不安で、豪雨への恐怖心が消えないのだろう。

治水対策工事が進められているが、水害のリスクはゼロになるわけではない。被災した子供たちも、心の傷が完治しないケースもあるという。被災者の心を癒やすのは簡単ではなく、時間がかかる。

堤防の強化、迅速な避難策などハードとソフトの両面からの対策を積み重ね、安心感を持つてもらうことが大切であると思う。

（大阪府泉佐野市）

※無断転載不可